

経営比較分析表（令和2年度決算）

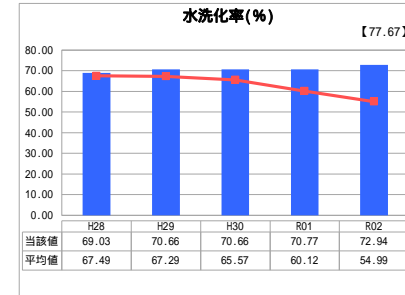
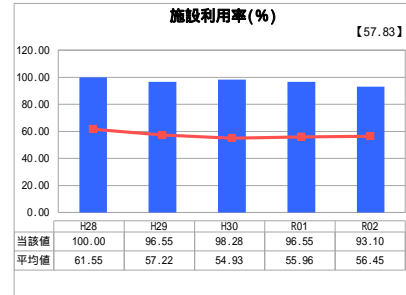
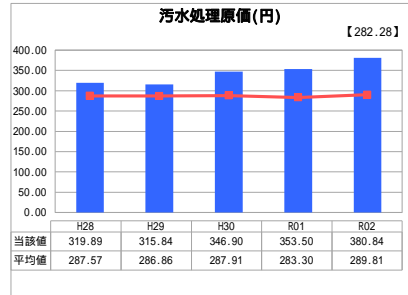
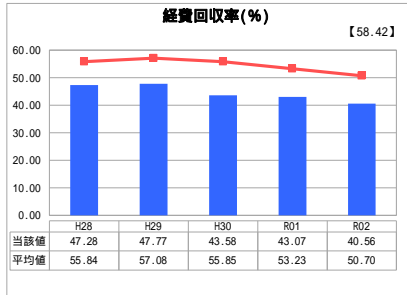
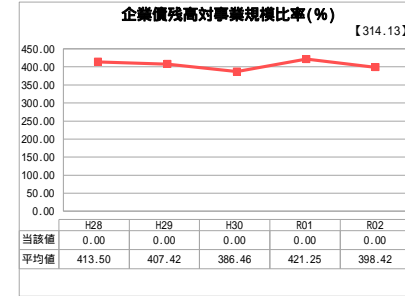
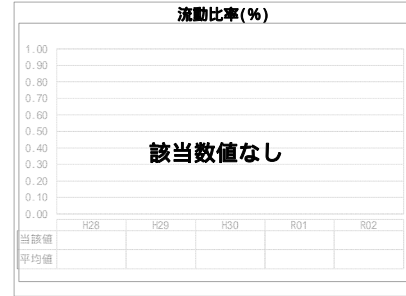
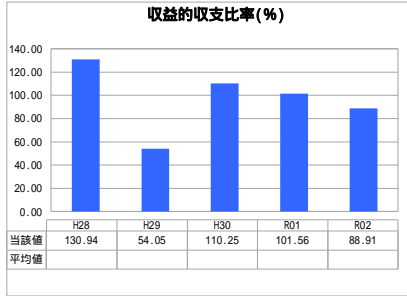
佐賀県 江北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.01	100.00	2,990

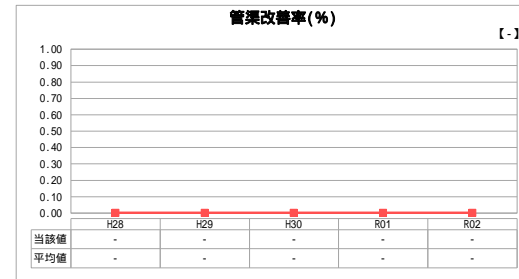
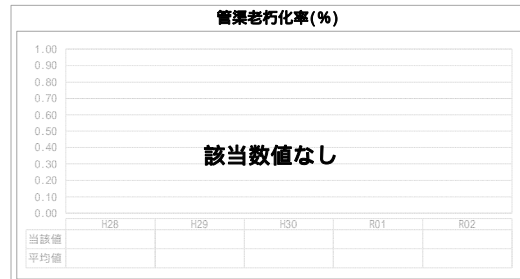
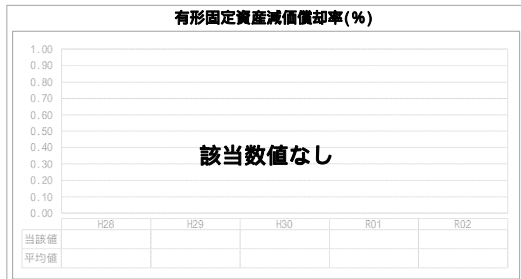
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,709	24.49	396.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
388	0.04	9,700.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

近年下水道使用料は横ばいとなっていたが、当町下水道事業の広域的な統合の影響で令和2年度は大きく減収となった。また部品の交換等の軽微な修繕だけでなく浄化槽内の修繕等により維持管理費が増加し、収益的収支比率が悪化した。

企業債残高対事業規模比率・施設利用率・水洗化率は類似団体よりも良好であるが、経費回収率・汚水処理原価については類似団体や全国平均よりも低い水準である。特に汚水処理原価は経年による修繕費の増加に加え、水道事業統合による有収水量の減少の影響で令和2年度は近年よりも高くなっている。

加えて本事業は浄化槽区域内のみであるため、設置戸数の大幅な増とはならず、経費回収率の増につながりにくいことも経営を悪化させる要因となっている。

2. 老朽化の状況について

年3回の点検と清掃を定期的に行っており、不具合についても早期に対応している。令和2年度は修繕費が多かったが供用開始から10年以上経過しており、今後も大小様々な修繕が発生することが予想される。

全体総括

点検と清掃を定期的に行い、浄化槽の維持管理費の低減に努めつつ、地方公営企業法の適用を実施し、下水道事業経営戦略の見直し・維持管理費に見合った下水道使用料の検討を行い一般会計からの繰入に依存している状況を改善する。